



青森

弘前市「趣のある建物」指定の赤煉瓦倉庫
志功の遊天
「弘前城しいどる」
津軽の自然と歩む老舗蔵元

弘前銘醸



美術的価値も高い同社清酒パッケージ
“志功の遊天”

市の指定を受けている。

創業以来の代表銘柄である清酒「遊天」は、青森が生んだ世界的板画家「棟方志功」がラベルや題字、パッケージデザインすべてを手がけた。画伯の作品の中でも他に類を見ない美術的にも大変貴重なものとされ、津軽の地酒「志功の遊天」として長く愛されている。また、弘前城「日本最古のソメイヨシノ」の天然酵母を使い、地元産りんご100%でつくった「弘前城しいどる」（シードル）は、原料から製造までオール弘前メンバードで開発したもので、果実味あふれる優しい甘みと酸味、酵母が生み出す独特の「和」の風味で、大変好評を得ている。

同社の事業は、酒・りんご・米・水などの「食」と「地域」に密接に関わっている。津軽の豊かな自然に感謝するとともに、信頼と努力をモットーに、「今後も地域のお役に立ち、皆様に喜んでいただく企業」をめざしていく。

1932年（昭和7年）創業の弘前銘醸（青森県弘前市大字富田、加藤宏幸代表取締役、0172・32・4241、<https://www.hirosakimeijo.com/>）は、大正時代から続く清酒蔵元を引き継いだことから始まり、現在は、自社銘柄酒の販売、敷地内の良質な地下水を使った水製造、旧酒蔵を活用した営業倉庫を営んでおり、津軽の地酒・棟方志功ラベルの清酒「遊天」、桜天然酵母の「弘前城しいどる」の総販売元である。

1918年（大正7年）建設の赤煉瓦倉庫は、今も現役の営業倉庫。古くはNHK連続テレビ小説「おはなはん」のロケ地になったり、江戸時代から近代洋風建築までが混在した弘前の情緒ある町並みを形作る「趣のある建造物」として



弘前のりんごと桜のおいしい出会い…
津軽の春をイメージした
ボトルも華やかな「弘前城しいどる」